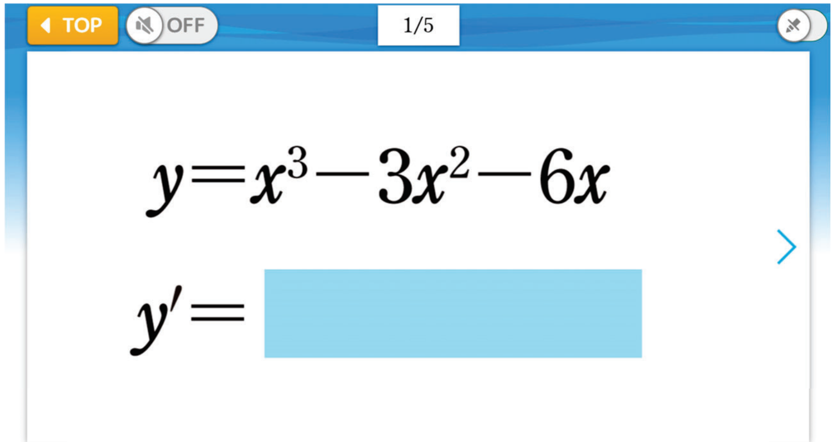
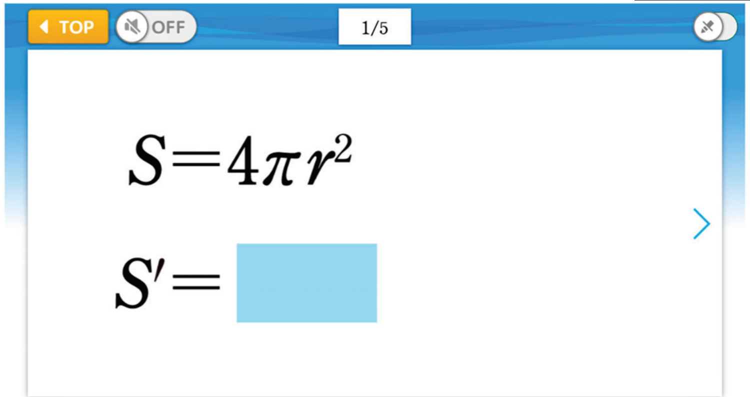
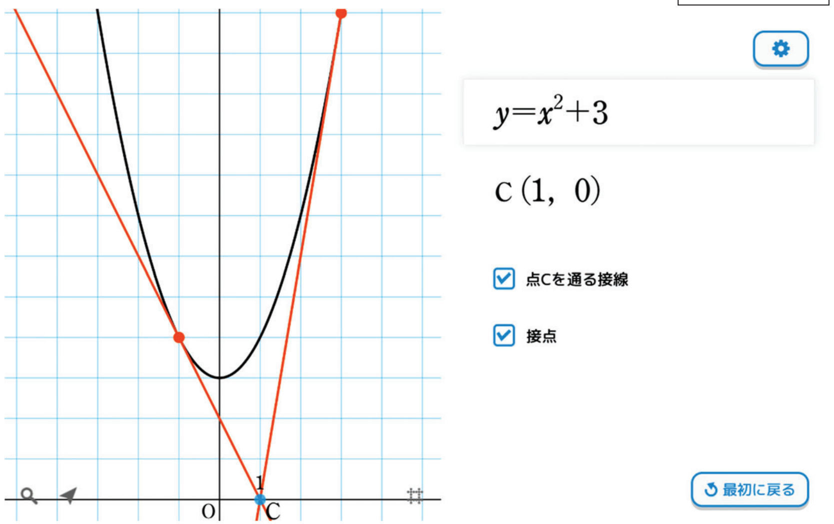
別紙１５７



別紙１５８



別紙１５９



別紙１６０

振り返り　第６章　第１節 微分係数と導関数

ここでは，微分係数と導関数について，これまでに学んできたことを振り返ってみましょう。教科書を振り返り，空らんを埋めてみましょう。

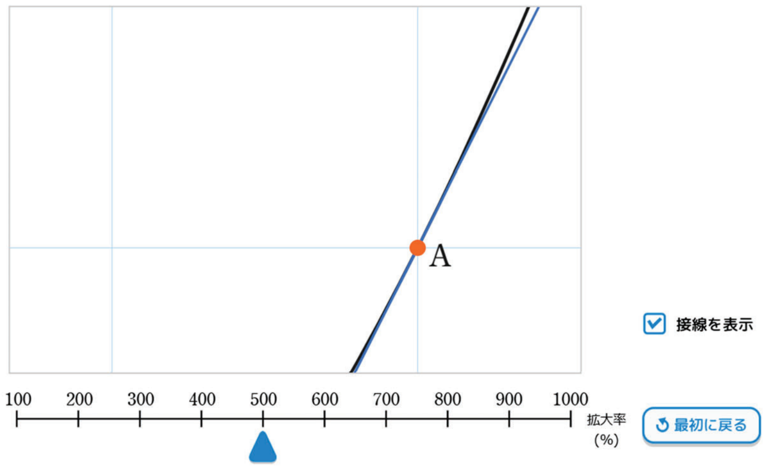
■ 平均変化率

x が a から $a+h$ まで変化するときの関数 $f(x)$ の平均変化率は

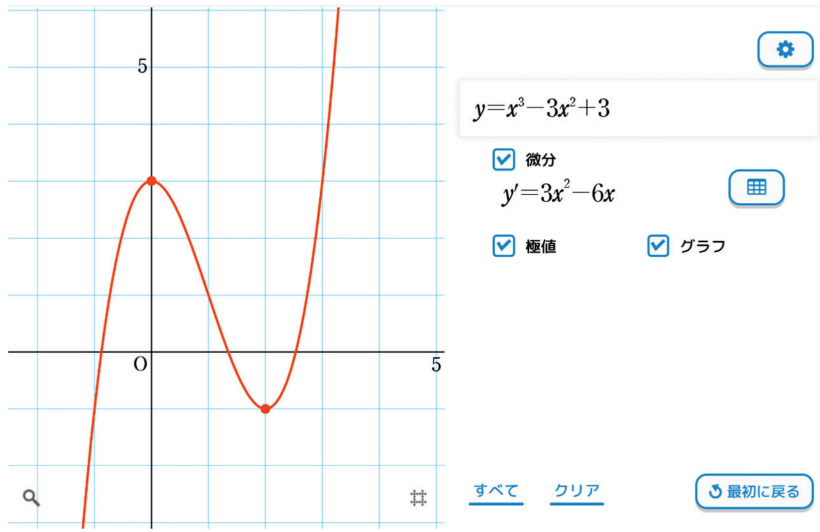
■ 微分係数

上の平均変化率において，h を限りなく 0 に近づけるとき，この平均変化率が限りなく一定の値に近づくならば，その極限値を，関数 $f(x)$ の $x=a$ における微分係数といい，$f'(a)$ で表す。

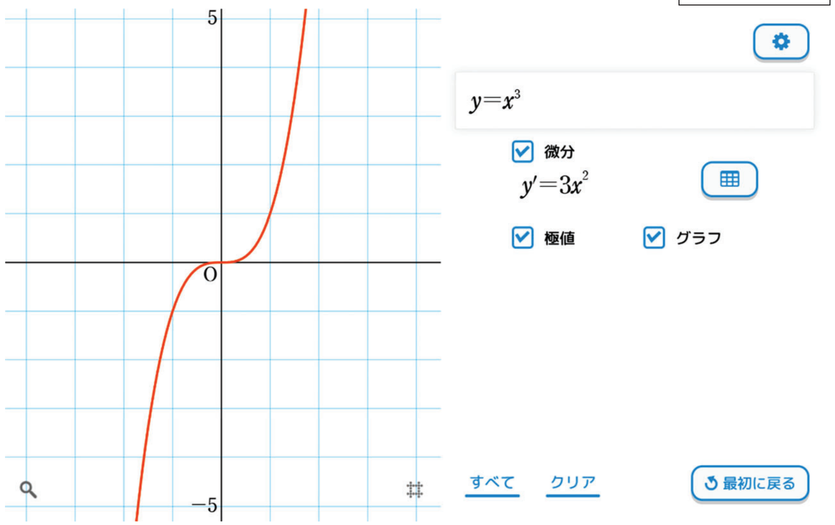
別紙１６１



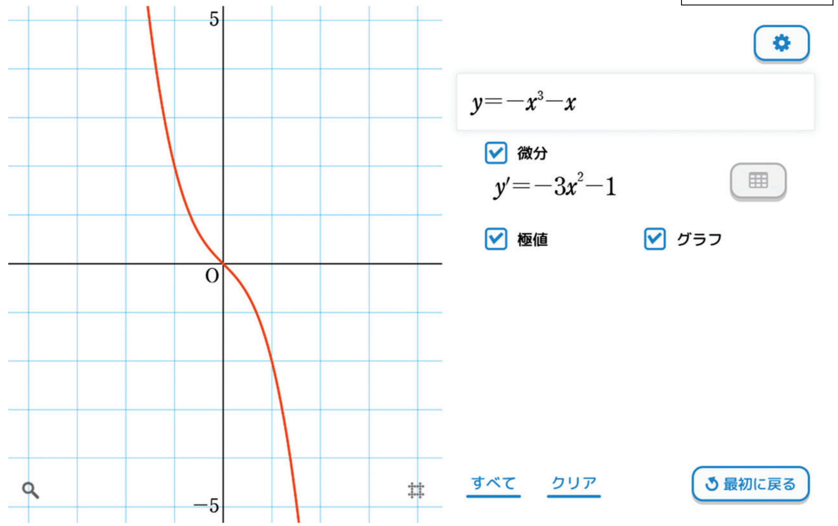
別紙１６２



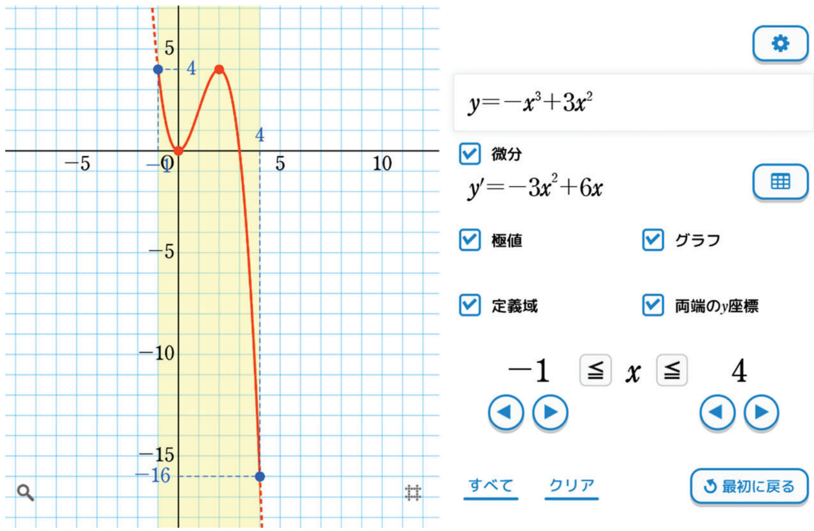
別紙１６３



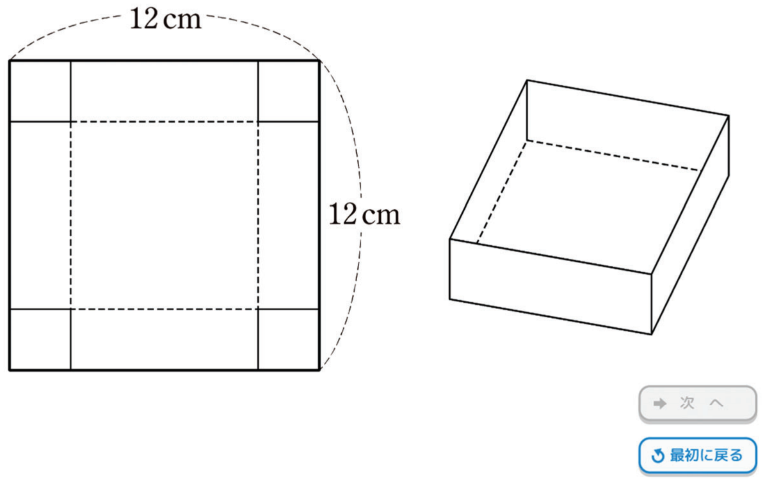
別紙１６４



別紙１６５



別紙１６６



別紙１６７

振り返り　第６章　第２節　関数の値の変化

ここでは，関数の値の変化について，これまでに学んできたことを振り返ってみましょう。教科書を振り返り，空らんを埋めてみましょう。

■　関数の増減と導関数

関数 $y=f(x)$ は　$f'(x)>0$ となる x の値の範囲で $\boxed{\quad}$ し，

$f'(x)<0$ となる x の値の範囲で $\boxed{\quad}$ する。

■　関数の極大・極小

1　関数 $f(x)$ が $x=a$ で極値をとるとき　$\boxed{\quad}=0$

2　$f'(x)$ の符号が

正から負に変わる x の値で $f(x)$ は $\boxed{\quad}$ であり，

別紙１６８

用語の解説

「任意の」

別紙１６９

TOP OFF 1/5

$$\int(4x+5)dx$$

$$=\boxed{\quad\quad}+C$$

別紙１７０

TOP OFF 1/5

$$\int_1^3(x^2+6x-7)dx=\boxed{\quad}$$

別紙１７１

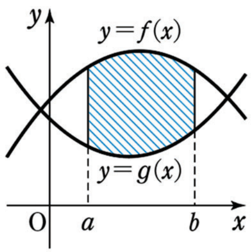
TOP OFF 1/5

$\int_1^x(s^2+9s-2)ds$ を

x で微分すると $\boxed{\quad\quad}$

別紙１７２

$\int_a^b\{f(x)-g(x)\}dx$



最初に戻る

別紙１７３

振り返り　第６章　第３節 積分法

ここでは，積分法について，これまでに学んできたことを振り返ってみましょう。教科書を振り返り，空らんを埋めてみましょう。

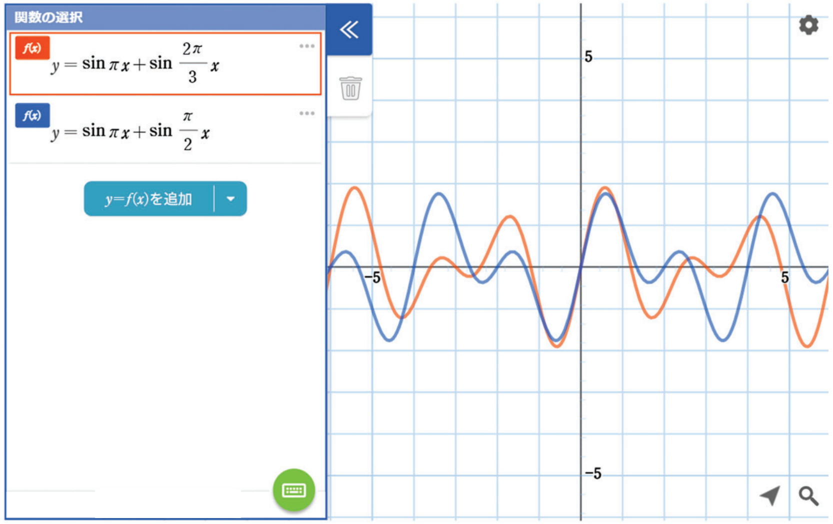
■　不定積分

□ すると $f(x)$ になる関数を，$f(x)$ の不定積分といい，記号で □ と表す。

■　定積分

関数 $f(x)$ の不定積分の１つを $F(x)$ とするとき，実数 a，b に対して，値 $F(b)-F(a)$ を，関数 $f(x)$ の a から b までの定積分といい，記号で □ と表す。

別紙１７４



別紙１７５